



議会
だより

ふながた

No.149
24年/1



発行：山形県舟形町議会
平成24年1月27日



年頭の挨拶	2 P
12月定例会概要	3 P
議案審議	4～5 P
中学生議会	6～7 P
一般質問	8～11 P
町民の声・議会活動・一般質問のゆくえ	
人事案件・哀悼決議	12～15 P
えがったなあ・編集後記	16 P

おさいとう(舟形八幡神社)

「飛躍」の年に期待して



町議会議長 信夫 正雄

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、常日頃より町議会に対し深いご理解とご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

昨年東日本大震災が発生し、当町においてもかつてない長時間の停電や、燃料不足がおきました。地震直後に昼夜を徹してライフラインの回復や安全確保にあたられ、人的な被害を食い止めることができたのも関係者の努力があったからと感謝申し上げます。

原発事故を伴う未曾有の大災害に対し、全世界から多くの支援が寄せられ、全国各地からのボランティア活動により「絆」という素晴らしい一字が目に見えることとなりました。しかし、被災者の方々は、被災地の復興が遅々として進まない現状の中で新年を迎えることとなりました。

「辰」年の今年こそ、復興元年と位置づけ、被災された方々が将来に夢と希望が持てるような国策を断行していただきたいと願っています。

私共議員も、「地方公共団体の具体的政策の最終的決定」という議会の使命と「いかに住民の福祉を考え、住民の立場に立って判断するか」という議決権の重要性を深く自覚し、第6次町基本構想の「出会い、ふれあい、支え合い」新たな結いの創造」を胸に、さらなる町政の発展をめざして頑張ってまいります。年頭にあたり、今年が皆様にとって良き年でありますようご祈念申しあげ、新年のご挨拶といたします。

議長 信夫 正雄
副議長 八 欽 太
議員 叶内 富夫
野尻 益夫
大場 清之
加藤 憲彦
佐藤 広幸
齋藤 好彦
奥山 謙三
佐藤 勇
事務局長 松田 清司
主任 大場 由美子

12月定例会
6日～8日

一般会計補正予算

総額1億500万円追加

12月の定例会は、6日から8日までの会期で開催され、4人の一般質問に続き、一般会計・特別会計補正予算等、全議案を原案どおり賛成多数で可決しました。

主な事業

庁舎建設基金積立金

耐震化工事積立金……………5,000万円

町住宅総合支援事業

定住促進交付金等……………1,000万円

障がい者自立支援等事業

福祉サービス給付費等…2,900万円

12月補正予算額

会計名	補正額	予算総額
◎一般会計	1億500万円	41億370万円
◎特別会計		
介護保険	△320万円	6億9,562万円
簡易水道	100万円	1億9,280万円
農業集落排水	170万円	2億2,900万円
公共下水道	40万円	1億9,710万円

主な付議事件

- ◎一般会計、特別会計補正予算
- ◎町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙
- ◎町暴力団排除条例の制定
- ◎町税条例の一部を改正する条例の制定
- ◎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

質 答 応 疑

一般会計

歳入

議員 緊急経済対策事業基金繰入金の使途と基金の残高は。

まちづくり課長 舟形町住宅総合支援事業に活用いたします。本事業実施後の基金残高は、2,150万円です。

歳出

議員 役場庁舎建設基金積立金に5千万円積み立てているが、どのような目的で行なったのか。

総務課長 現在の役場庁舎は耐震化基準を満たしていません。耐震化工事を行うために積み立てるものです。早期に工事を行い安心、安全な町づくりを進めます。

議員 岡矢場地区圃場整備工事が遅れているが、工事期間はいつまでか。

地域整備課長 工事着工後に不良土が当初想定より広範囲に発生することが判明し、その対応に不測の期間を要することから、工期は3月末まで延期になります。

このうち軟弱地盤が発生した圃地約4.7haは、地元受益者との協議により7月頃までに完成することで調整しています。



圃場整備工事（岡矢場地区）

議員 町が実施する災害復旧事業や消雪施設整備事業等の着工が全般的に遅いと思われるが。

産業振興課長 災害復旧工事は、事前に調査・災害査定等があり着工が遅れる場合があります。今後は早期着工・完成に努めます。

地域整備課長 消雪施設整備事業の散水設備は二次加工製品であるため、発注・加工に時間を要しますが早期完成に努めます。



消雪工事（富田）

議員 3月以降節電に努めている中で、毎晩のように庁舎の一部に電気が点いているようであるが、業務の平準化に努めるべきではないか。

総務課長 一部の職員にだけ仕事が集中しないように分担し、定時に帰るよう今後も指導していきます。

議員 町道長沢1号線流雪溝の水の確認と、今後の流雪溝の整備計画は。

地域整備課長 不動沢川を、完全に堰止めて300ミリ導水路で水を引いています。

現在、流雪溝の整備計画はありませんが、今後整備を希望する地区があれば相談に乗らせていただきます。

特別会計

農業集落排水事業

議員 下水道汚泥の放射線の測定値はどうか。

地域整備課長 今まで、7月、8月、11月の3回調査を行なっています。

セシウムの基準値が400ベクレル以上検出されると汚染されていることとなりますが、放射性ヨウ素は不検出、セシウム134・137ともに3.8ベクレル〜22ベクレルで基準値を下回っています。



ロータリ除雪車

議員 社会福祉費のロータリ除雪車購入費、地域支援合い除雪体制づくりモデル事業交付金403万円の内容は。

まちづくり課長 モデル事業で県補助金350万円を受けて購入します。洲崎地区に除雪組織を立ち上げ、高齢者世帯の除雪の対応と、町道の非効率となっている2路線の除雪委託を行うものです。

議員 農村環境改善センター管理事業の除雪機購入120万円と使用について。

まちづくり課長 農村環境改善センターの周りを職員が除雪するため、新規で購入するものです。現在役場に1台あり、使用していない期間に貸し付けることも検討しています。



小学校の放射線測定

議員 放射線測定器をどの様に使用しているか。

健康福祉課長 10月に測定器が届き各小学校のグラウンドは月2回、花壇、排水路の調査も行なってきましたが今のところ基準値以下です。

舟形町暴力団排除条例

議員 暴力団排除条例を制定することにより、町民にどの様なかわりがあるのか。

総務課長 将来、暴力団関係者が町に入ってくることを抑止することができます。

また、町民が暴力団に対し排除するという強い意志の確認をすることができます。

第2回中学生議会

平成23年11月2日舟形町第2回中学生議会が舟形町役場議場にて開催されました。中学生の意見をまちづくりに反映する場として、また、地方自治に町議会が果たす役割を学び、この体験を通じてまちづくりに参加する楽しさを知ってもらおうと開催したものです。
参加者は舟形中学校3年生40人と町長はじめ町関係者。10人の代表者が議員となり、立派にそれぞれの役割を果たしてくれました。

信夫議長挨拶

今回の中学生議会は、災害への対応や、町の振興対策を問う、タイムリーな一般質問や政策提言がなされたと思います。また、質問者全員が再質問をするなど、「舟形町を良くしていく」という熱意を強く感じました。

議会としても中学生の皆さんの新鮮な考えを真摯に受け止め、「良い町づくり」のため、尚一層頑張ろうと決意を新たにしました。

中学生の質問に対し、真剣に答弁をしていた町長と、ご協力、ご指導いただきました舟形中学校と先生方に感謝申し上げます。



議事を進める早坂奈津美議長

中学生議会議員名簿

議席	氏名
1番	須藤 優吾
2番	富樫 魅鹿
3番	竹屋 耕司
4番	高橋 千咲
5番	尾形 安芸
6番	伊藤 嘉希
7番	伊藤 咲花
8番	伊藤 大樹
9番	渡辺 雄大
議長	早坂奈津美

渡辺雄大議員 地震の時の避難対策と冬季間の災害発生時の対策についてお聞きします。

町長 各町内毎に、避難できる避難所を指定していますので確認して欲しいと思います。さらに今年度中に避難所に発電機を設置する予定です。

富樫魅鹿議員 若めゆ温泉テニスコートの修復状況と工事完成はいつですか。また、堀内から烏川に行く道路の土砂崩れの修復工事はするのですか。

町長 完成は12月中旬となっております。来シーズンから使用できますので、大会で良い成績を残せるよう期待しています。
次に土砂崩れの修復工事について、10月20日から始めています。工事完成は概ね24年8月末の完成予定です。



議員の質問に真剣に答える町長

尾形安芸議員 独居老人支援について町の対応は、除雪のボランティアを募集したところですか。
町長 舟形中学校「RC」には、配食利用者に手紙を送っていただき感謝申し上げます。町では希望される方に「弁当の配食」、「ふわあいヤクルト配達事業」を通じて安否確認などを行なっています。
除雪は、有償ボランティアの紹介、町除雪支援事業の助成も行なっています。今後ボランティアの募集を行なっていきます。

伊藤嘉希議員 地域資源を利用した商品作りや交流により、どんな効果がありましたか。特産品はどのように売られ、その収入はどのように使われていますか。
町長 地域資源による経済効果が一番であり、新たな仕事が生まれます。舟形町での販売はもとより、イベントやネット販売も進めています。収入は給与や生産のための原材料、開発費に使われています。



傍聴席で見守る仲間

伊藤咲花議員 小学校統合後の登下校の交通手段と交流学習はどうなるのですか。閉校後の施設を図書館にして勉強できる施設にしたいです。
町長 登下校の手段は、現在の舟形小学校の児童は今までと同じですが、長沢、富長、堀内小の児童はすべてスクールバス通学となります。交流学習については、今までと同じ形態で実施していくことは困難なので、十分相談して決める考えです。閉校後の施設の活用について結論は出ていません。今後、委員会を立ち上げ検討していきます。図書館は中央公民館、生涯学習センターにありますので、活用していただきたいと思います。

伊藤大樹議員 雪エネルギーとはどんなものか、また、どのように利用しているのですか。環境にやさしい町づくりのために、雪エネルギー以外に取り組んでいくことはありますか。
町長 体験実習館では、「貯雪」の施設に天井まで雪を詰め込んで、気温が上昇する7月〜9月までの3ヶ月間「雪冷房」に利用しています。雪エネルギー以外には、役場庁舎の窓の省エネフィルム貼付と省エネ蛍光灯への転換、更に地下の大地熱を利用した消雪、役場庁舎にパレットストープの設置、小水力発電候補地調査をしています。今後導入される方に、補助制度を創り普及を進めたいと思っています。



挙手をし再質問する議員

竹屋耕司議員 舟形町には釣り客がたくさん来るので、これを活用するため、施設を整備し、若者が働く場をつくる考えはありませんか。

町長 その場で天然鮎を食べることができ、釣り情報の提供、鮎の特産品を賣ることが出来るような施設を考えてまいりたいと思います。頑張る雇用をつくり出す努力をしていきますので、新しい発想による提案をお願いしたいと思います。

高橋千咲議員 長者原と福寿野方面の街灯と歩道の整備充実について質問します。

町長 県道舟形大蔵線については、道路幅が狭く交通量が多いことから大変危険ですので、歩道設置を早期に整備していただくよう県に強く要望したいと思います。街灯の整備充実については、町内会と相談しながら進めたいと思います。

政策提言

須藤優吾議員

「舟形インターチェンジにコンビニ設置を」
24時間営業のコンビニを設置し、町の特産品や農産物などを置くことにより町発展につながると思います。

質疑 大型駐車場を整備したコンビニにして欲しい。軽食を出せるような施設にしたらどうか。ガソリンスタンドを併設したらどうか。



政策提言は賛成多数で可決されました



齋藤 好彦 議員

観光資源の整備による町活性化を

舟形の魅力をPRし誘客に努めたい



あゆっこ村キャンプ場

【質問】 舟形町の人口は、前回の国勢調査と比較して500名の減少であり、舟形町総合発展計画で謳っている、少子化対策や定住促進対策による、人口6,000人の維持は非常に厳しい現実にあると思われることから、観光産業の振興による観光客の誘致、そして交流人

口の増加をめざし、活気ある町づくりに努める必要があると考えます。 ついては、既存の観光施設の整備と舟形町の二つの日本一を活用した観光事業に積極的に取り組み、若あゆ温泉を核とした各施設との連携による総合的な観光産業の振興、そして、各種イベントの

開催による観光交流人口の増加に繋がるような施策を講ずることが必要であると考えます。舟形町の観光資源を最大限に活用し、地域が活性化するまちづくりを目指した舟形町の観光産業の振興について、町長の考えをお伺いします。

【町長】 観光には「イベント開催型観光」、いわゆる若鮎まつりや鮎釣り大会、芭蕉大学の開催などのイベントを開催しながら誘客する観光と農業体験や自然散策、わらび採り体験、そば打ち体験、木工クラフトなどの体験を主とする「体験型観光」、そして、若あゆ温泉や西ノ前遺跡、羽州街道、猿羽根山地蔵尊など名所・旧跡を巡る「資源活用型観光」に区分されます。舟形町にあつては、この3つを組み合わせた観光の展開が必要であると思っています。

第6次基本構想にも観光を総合産業として位置づけ、人材育成も含めて町民（地域）の提案型観光を明記し、縄文のウィークの活用や、歴史探訪ルートの確立、観光やナバの活用などを重点項目として観光開発を盛り込んでいくつもりです。舟形町の財産はやはり「鮎」であり、そして「小国川」です。観光やナバの整備について、築会の



奥山 謙三 議員

ねぎ産地育成支援を問う

産地確立に向け支援を行う



ねぎ選果作業風景

【質問】 平成23年産ねぎ価格は、前年比また指標価格比とも大幅下落となりました。選果場が今年から稼働しましたが、来年度以降の作付けが心配されます。舟形町ではねぎ作付け

の普及拡大を強力に進めており、これを達成するために、次年度以降継続して作付けを行う事を約束する生産者に、支援措置を検討出来ないかお伺いします。

【町長】 ねぎの今年の価格は、10月から11月にかけて大幅に下落いたしました。町では、一ラに次ぐ産地品目としてねぎの支援について、ねぎの選果場とは別に、緊急雇用に伴う種子代として125万円、転作の助成として約200万円の種子助成、その他に10アールあたり3万円の産地資金交付を行なっていく予定です。今後も現行助成制度を堅持して支援を図ってきたいと思っています。

また、野菜が下落した場合の「価格安定制度」があります。下落分の7割が補てんされます。 具体的な補てん額や、事務の進め方はこれからとなりますが、現行制度の中でJAと共にスムー

ズな手続きを行なっていきたいと考えています。 **【質問】** 職場内の活性化を図るには、協調と競争の環境づくりと、職員自らの自己啓発が必要であるが、町役場ではその誘導策はどうしているか。当町の正職員の平均年齢は、高齢になっており新規採用が見送られてきたことがうかがわれるが、緩やかな減少を睨みながら、一例として退職者2名に対し、新規採用1名にするなど検討すべきではないか、町長の考えをお伺いします。

【町長】 職場内の協調性や、良い意味での競争の環境を創り出すためにも、適材適所を基本にしなが

経験年数を考慮し、定期的な職員の異動を行うことにより、新たな職場での意欲をかもし出し、合わせて業務量の適正化と平準化により、現職員体制で厳しい職場環境を乗り越え、職場の活性化を目指していきたいと考えています。 また、平成24年度からは、退職者数や業務内容、業務量を精査し、計画的に職員採用試験を実施し、職員の年齢構成のバランスを図ると共に、健全な行政の継続性に努めていきたいと思っています。



佐藤 広幸 議員

奥山町政の総括を問う

産業の振興と新たな結いを



役場庁舎

【質問】 平成20年2月に町長就任以来約3年10カ月にわたり町政を預かって頂きました。日本はこの4年間デフレ、不景気、官民格差の拡大等と言われてきましたが、その中で順風に公約を履行出来たことと思います。それは政府が景気対策に力を入れたので

予算を組みやすかったとの声も聞かれます。私は、町長がまだ候補者だった4年前に公約した農業所得500万円の農家を育てると言ったことを鮮明に記憶しています。最近その言葉や文字が見当たりませんが、これまでの取り組み内容と所

得500万円を超えた農家はありますか。また、町長が常に口にしている「出会い、ふれあい、支えあい」新たな『結』の創造とは、どのような人同士が出会い、ふれあい、支え合うことになり新しい結がこの4年間で生まれたのか具体的に説明して下さい。

【町長】 「町民が主役の躍動感あふれるまちづくり」をマニフェストとしていますが、その大きな柱として産業の振興を挙げています。具体的には「産業の振興や起業家を支援し地域活性化を図り、農業振興部門では付加価値型農業の展開などを実践するチャレンジ実践塾を設置し、農業所得500万円をめざすこと」としています。「第6次基本構想」や「過疎計画」「舟形町農業振興計画」に基づき農業振興を進めています。①生産組織の育成、②複合経営の確立と産地づくり、③6次産業の推進など、6つを重点施策として進めています。500万円を超えた農家の方は現在2名となっています。

次に、新たな結いとはこの質問ですが、「青年団体fits」や「Tmプロジェクト」の組織化を図り、西団体からは町の行事に積極的に参加していただいています。他にも商工会青年部には

様々な懸念が示されていることを真摯に受け止めて、戦略を持って協議に臨むこと②協議によって得られる情報や対応すべき課題については情報開示すること③そのうえで、地方も含めた各界各層の議論を尽くし、それらを踏まえた実行性のある諸施策を検討し提示することも、国民的な合意形成を進めることを国に求めていく必要があると思われまふ。以上が知事の談話ですが、この考えを支持したいと考えます。仮にTPPに加盟した場合、安い輸入品との差額を国が補償する制度のようなものができるのではないかと思えます。



大場 清之 議員

TPPについて町長の考えは

情報開示と国民的合意形成を



TPP参加反対運動

【質問】 東日本大震災の影響からいまだ現状復帰すらできていないにもかかわらず11月11日総理はTPP参加について「交渉に向けて関係国との協議に入る」と表明しました。

TPP断固阻止を叫んだ農林漁業者や地域経済の崩壊、医療や雇用、食の安全への不安や懸念を抱く多くの国民の切実な声を振り切り、十分な情報も開示せず、明確な説明もないまま交渉参加に踏み切ることが国民軽視の許し難い暴挙であり、激しい憤りを感じる次第です。また、農業の足腰

の強い農業者を育てること口先だけ先行して、いまだ何も政策に実行しない中TPPだけが先行するそのような総理は今までもいけないし、国民無視の首相は即刻やめるべきと考えます。町長の考えは、また、我々が心配しているようにTPPが発動した場合、町の今後の農政をどのようにして進めていくのですか。

すと日本がTPPに加盟して予想通りに他国からの安い農産物などが入ってくれば、消費者としては安い食べ物を買えるというメリットがあるかもしれませぬ。しかし、それによって国内の農家が減少し、日本の食料自給率が下がっていく可能性がありまふ。

確かに、TPPに加盟しても実際にどの程度利益、あるいは損失になるかわからない面がありますが、自由貿易は世界の流れでもあり、日本だけ「鎖国」を続けることは現実的に困難な局面に入っていることも事実です。吉村県知事は次のような談話を発表しています。「野田首相の責任で交渉参加に向けた協議に入ると決断した以上、①反対

【町長】 TPPの参加について、内閣府、農林水産省、経済産業省の3省が試算を出しましたが、結果はバラバラで正直どれが正しいのかよくわからないというのが実情でありまふ。政治家や財界人も賛成、反対で意見が分かれています。また、別の見方で消費者の目線で見ま

や様々な懸念が示されていることを真摯に受け止めて、戦略を持って協議に臨むこと②協議によって得られる情報や対応すべき課題については情報開示すること③そのうえで、地方も含めた各界各層の議論を尽くし、それらを踏まえた実行性のある諸施策を検討し提示することも、国民的な合意形成を進めることを国に求めていく必要があると思われまふ。以上が知事の談話ですが、この考えを支持したいと考えます。仮にTPPに加盟した場合、安い輸入品との差額を国が補償する制度のようなものができるのではないかと思えます。

平成24年1月号

声 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

新年あけまして、おめでとございます。東日本大震災で被災された皆さんの、一日も早い復興を、心からお祈り申し上げます。

さて、今年はどうな年になるでしょうか。政治・経済・社会、これを見ても課題山積みの様相であり、毎年のように変わる農業政策や、雇用の問題など先々が心配であります。舟形町においても、過疎化が進み、少子高齢化社会になっています。

高齢者の自宅介護等により、働きたくても働けない方がたくさんいる中で、この度介護老人福祉施設「ほなみ」の増床は喜ばしいことでもあります。「福祉のまち舟形」を宣言してから18年目になり、入所希望待機者が数十名と聞きます。「福祉のまち舟形」にふさわしく、これからも力を注いでいただき、住み良い町、舟形をPRして欲しいと思います。



豊岡 作雄 さん (長者原)

一 文教民生常任委員会

11月21日に町内統合小学校の進捗状況、中学生までの医療費無料化実施後の状況及び高齢者世帯等の除雪対策について説明を受けました。

●調査の内容(行政の説明概要)

- (一) 小学校統合について
 - ① 建築関係の進捗状況
 - ② 体育着について(準備会での承認)
 - ③ PTA組織規約について(準備会での承認)
 - ④ 跡地利用について
 - ⑤ 閉校式について
- (二) 中学生までの医療費の無料化について
 - ① 当初の試算との比較について(当初試算とほぼ同額の負担割合)
 - (三) 高齢者世帯等の除雪対策について
 - ① 除雪サービスの改正案について
 - ② 除雪体制についてモデル事業について

●課題

- (一) 小学校統合について
 - ① 校舎建築にかかる費用について
 - ・ 総工事費、2億8千万円(うち校舎部分1億9千8百万円、冷暖房設備8千万円)とあり、冷暖房設備の経費が多額である。舟形町での実績のある雪冷房システム等の検討はしたのか。
 - ② 当初の統合説明会では「校舎増築はない」との説明ではなかったのか。
 - ③ 跡地利用について十分な協議が必要である。
 - ④ 高齢者世帯等の除雪対策について
 - ① 対象世帯の制約が厳しい。もう少し検討すべきである。
 - ② 雪下ろし単価の解釈が曖昧である。
 - ③ 除雪体制についてモデル事業について
 - ① 除雪車の維持管理はいつするのか。
 - ② 受け入れ地域との十分な話し合いが必要である。

一 総務振興常任委員会

11月17日から18日、山形県庄内町と秋田県七滝土地改良区に視察研修を行いました。

山形県庄内町が取り組む風力発電は日本三大悪風の「清川だし」を逆転の発想で資源として活用し、現在庄内町では官民合わせて8基の風車が稼働し年間約1,250kWhの発電量を見込み、町全体の年間消費量に対する新エネルギー比率が12.6%にのぼっていました。これは約6937トンのCO2削減効果があるそうです。

総合的に見ると風が強いと言われる庄内地方でも年間稼働率が20%でその他、落雷保険や修繕費などがかかることでコスト面での課題があると思われました。



小水力発電視察

③ 作業事故等に対応した労災保険等も考慮すべきである。

●今後のあり方

- (一) 小学校統合について
 - ① 雪冷房システム利用時の試算を検討する。
 - ② 校舎増築については再度検討する。
 - ③ 新小学校における「食育」について検討すること。
 - ④ 跡地利用について町・地域と充分検討すること。
- (二) 除雪体制について
 - ① サービスの改正内容について再度検討すること。
 - ② モデル事業の今後の対応について検討すること。



舟形小学校の新設駐車場



土地改良区分水堰

次に秋田県七滝土地改良区が取り組む小水力発電は、東京発電(民間会社)から借り受けしたタリウス水車発電装置を使用し約500Wの発電量があります。

この発電容量でLED電球25個を取り付けることができ、3月11日の震災当日全世帯が停電する中この水力発電に取り付けた街灯だけが灯り、自然と人が集まってきたそうです。また携帯電話の充電にも使用でき、外部電源がないと回らない風車と比べると災害時には強いと感じました。

しかし、1.2m幅で落差0.8mの水路に設置するのに総事業費が1,125万円かかり、ここでも導入コスト対効果の課題があると思われました。

舟形町の自然エネルギー導入を考えると、コスト面での課題が出てくると思われる。国、県、民間企業との連携が欠かせないので、多くのアンテナを張り情報収集に努めるべきです。

すでに先進的に取り組んでいる自治体も出てきているので、なるべく早く舟形町でもモデル事業などを利用して自然エネルギーの導入に取り組みべきです。そこで、舟形町では土地改良区の用水路を利用するのが最適だと感じました。

☆シリーズ

一般質問のあひら

(平成21年9月定例会)

質問

クリーンエネルギー導入が町おこしへの期待と環境負荷の低減につながる事が指摘されている今、舟形町エネルギー構想の構築で厳しい経済状況の脱出を。

答弁

町では、「公共施設省エネ・クリーン化推進事業」を実施し庁舎内の節電を図りCO2の削減に取り組めます。今後も出来ることから、省エネ対策に対応していきます。

現状

役場庁舎内の窓ガラスに省エネフィルムを貼付することも、蛍光灯を省エネタイプに取り替え、消費電力を13%削減し、CO2を3.7トン削減することができました。また、国の「再生可能エネルギー等導入地方公共団体支援基金」を活用すべく計画書を策定する予定です。

山形県町村議会議員研修会

10月11日、山形市国際交流プラザを会場に県町村議会議員研修会が開催されました。

「議会改革の動向―町村議会の使命」と題して、明治大学教授の牛山久仁彦氏と、「これからの政局・政治展望」と題して政治アナリストの伊藤惇夫氏が講演されました。

議会のあり方や、現在の政治状況を考える上で有意義な研修でした。



県町村議会議員研修（国際交流プラザ）



最上地区町村議会議員研修（町中央公民館）

最上地区町村議会議員研修会

10月14日、町中央公民館を会場に最上地区の7町村議会議員研修会が開催されました。

最上総合支庁保健福祉環境部医療監兼最上保健所長の井瀨安雄氏を講師に招き、「福島第一原発事故に寄せて」と題して、原子力や放射能の基礎的なことから講演され、「今回の事故において、山形県は周囲を奥羽山脈や吾妻連峰に囲まれていることから、比較的影響が少なかったのではないかと述べられました。



編集委員研修（砂防会館）

議会報編集委員研修会

10月24日・25日、東京都のシエーンハツハ砂防会館で開催された町村議会広報研修会に参加しました。

常に読者の立場に立ち、読者が何を知らたいのかを考えて作ることが大事だと改めて感じました。

また、信頼されていけば、言葉は届きやすくなり、みんなに読まれる。だから、人から信頼されることが大事である。など、文章が伝わる要件を教わりました。

写真については、プロのカメラマンから、いろいろな写真を例に説明していただき、撮り方についても教わりました。やはり広報誌にとって写真は大事。何を伝えたいのかをその写真でわかるように載せることが大切だということでした。

この研修で学んだことを生かし、読者にとって読みやすく、見やすい「議会だよりふなだた」にしたいと思っています。

選挙管理委員会委員を選出

任期満了により新しく選挙管理委員会委員及び補充員を選出しました。任期は平成23年12月23日から平成27年12月22日までです。



■委員 佐藤 順子氏
72歳(西 堀)



■委員 小野 満氏
65歳(真木野)



■委員 植松 敦子氏
59歳(長沢一)



■委員 小国 友昭氏
63歳(富田一)

- 補充員 沼澤 仁氏(紫 山)
- 補充員 阿部 啓氏(洲 崎)
- 補充員 阿部喜美雄氏(野)
- 補充員 木村 喜一氏(福寿野)

哀悼決議を可決(12月6日)

去る12月1日に元舟形町議会議長加藤俊正氏が急逝されたことを悼み、議員発議により哀悼の決議を可決しました。

顧みるに、加藤元議長は昭和46年、舟形町議会議員に初当選されて以来、9回の当選を果たされ、平成19年に退任なさるまで、永きにわたり町政の発展にご貢献されました。

その間、数々の役職を歴任し、昭和58年5月7日から平成15年4月30日までの20年間にわたり議長の大任を担い、すぐれた見識と熱意をもって、議会運営にご尽力されました。

ここに、生前のご功績を讃え、ご遺族並びに舟形町の前途に限りなきご加護を賜りますことをお願いし、一言無辞を連ね、もって追悼の言葉といたします。謹んで哀悼の意を表します。

災害時における情報管理について

12月7日、町で情報管理を委託している酒田市の株式会社システムソリューションズを視察し、

- ・電源設備に関すること
- ・サーバ室に関すること
- ・防火設備に関すること
- ・防犯設備に関すること

などの概要について説明を受けました。

町役場庁舎が災害にあつた時、情報が消失しないように、最先端システムで安全な保管管理がなされていることが確認できました。

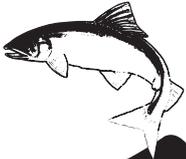


委託会社の説明



新シリーズ

舟形町に嫁いで来た、お嫁さん・お婿さんをご紹介します。



えがったなあ



□どんなきっかけで彼（ご主人）と知り合いましたか？
友人の紹介です。

□舟形町に嫁いで来て、どんなイメージを持ちましたか？

来る前は田舎かなあ…と不安でしたが、実際住んでみてすぐに慣れました。自然もいっぱい子育てするにはとても良い環境だと思います。

□舟形町での生活はどうですか？

こっちに来て雪の多さには驚きましたが、ご近所の方々に優しくしていただき、にぎやかで楽しい毎日を送っています。以前は鮎が食べられなかったのですが、5年目にして食べられるようになりました。

□舟形町の良いところ・悪いところがありますか？

家から歩いていける距離にチャイルドランド・そば屋・図書館（公民館）・スーパーがそろっているのが、子どもと一緒に散歩しながら利用することも多く不便に思うことはほとんどありません。子育て支援にも力を入れていて子育てしやすい町だと思います。悪い所はありません。

□舟形町に望むことはありますか？

これからも少子化に負けず、子ども達のパワーでどんどん舟形町を盛り上げていってほしいと思います。

舟形町に嫁いで来たお嫁さん、お婿さん
今回は、秋田県から舟形第4に嫁いで来た沼澤飛鳥（旧姓櫻田）さんです。
皆さんよろしくお願ひします。

お願い

「えがったなあ」に出てみませんか。
対象者は町外から嫁いで来たお嫁さん・お婿さんです。

（連絡先）
舟形町役場議会事務局
TEL 0233-32-2111(代)

編集後記

平成24年の新しい年を迎え今年には災害の無い年になって欲しいと願っています。

被災地で新しい年を迎えた皆様が一日でも早い復興を果たせるように微力ながらお手伝いさせて頂きたいと思っています。

この大災害を教訓に舟形町も予期せぬ災害に万全の態勢を取れるようにしなければなりません。

また、再生可能な自然エネルギーをわが町にも早く導入しエコタウンを目指すべきだと思います。

その様な気運を高めて行くためにも様々な角度から町や議会にご意見を頂きますようお願い致します。
(佐藤広幸記)

議会広報特別委員会

議長	信夫 正雄
委員長	加藤 憲彦
副委員長	奥山 謙三
委員	佐藤 広幸
	斎藤 好彦
	佐藤 勇